

世界水準のナショナルパークを目指す 伊勢志摩国立公園 新春の便り

発行●(一財)伊勢志摩国立公園協会、三重県
協力●環境省志摩自然保護官事務所
編集協力●(有)伊勢文化舎
発行日●平成30年12月20日

伊勢志摩
国立公園の日
第2号

志摩市の和具漁港は、イセエビ漁の最盛期。網にかかったエビをはずす「網さばき」の作業は冬の風物詩です。



受賞者(前列)たちの記念撮影



一般参加者も見守った



山本協会長(左)が賞状を授与

「第1回」

石原円吉賞決まる!

神島小学校(鳥羽市)、横山桜会(志摩市)

「伊勢志摩国立公園の日」(11月20日)が迫った11月17日、「Happy Birthday! 伊勢志摩国立公園」と題した第二回のイベントが開かれました。一般参加を含む約80人が鳥羽市立海の博物館に集まって、国立公園の豊かな自然や文化について楽しく学び、国立公園指定が叶った72年前の原点に立ち返る日となりました。

特別賞は中村幸昭さんと 前海博館長の故石原義剛さん

目玉は、新しく創設した石原円吉賞(以下、円吉賞)の表彰式。戦後、伊勢志摩の国立公園指定に奔走した石原円吉翁(一八七七一―一九七三)の精神にならい、毎年一回、国立公園の動植物の保護や地域文化の継承や発展などに功績のあった人物・団体をたたえていくものです。推薦された候補者から(一財)伊勢志摩国立公園協会長と有識者らが選考します。

記念すべき第一回の円吉賞には、神島小学校と横山桜会の2団体が輝きました。また、故・石原義剛前海の博物館館長と、中村幸昭鳥羽水族館名誉館長の2人に、特別賞が贈られました。(各受賞者については裏面に掲載)



晴れやかな植樹式

受賞者と関係者による植樹式のセレモニーも行われました。円吉翁が伊勢志摩国立公園内の学校などに桜

お日様の光で色が変わる!! 「貝紫染め」のクラフト体験

一般参加者に向けて、円吉翁について知る講演や館内



貝紫染めに熱中する一般参加者たち

を巡るガイドツアー、クラフト体験もありました。クラフト体験では海女が魔除けのために手ぬぐいなどに施す「貝紫染め」に挑戦。用意された貝から透明の液を取り、布につけて日光に当てると徐々に紫色に変化する様子に驚きの声が上がりました。家族3人で参加した男性は、「国立公園指定の経緯や円吉さんのことを知り、勉強になった」と話していました。

石原円吉賞・特別賞受賞者たちの喜びのコメント

石原円吉賞の受賞者と、特別賞の受賞者たちを紹介。表彰式で出席者が語った、喜びのコメントもお聞きください。

石原円吉賞

神島小学校(鳥羽市)

功績
神島っ子ガイド等

伊勢湾の入り口に浮かぶ離島の神島小学校は、全校児童20人。児童らが島の魅力を発見し、観光客を案内するツアー「神島っ子ガイド」を4年間続けてきた。平成30年には、中止された島の祭りを復活させたいと、「子どもゲーター祭り」も実施。地域文化の発信と継承に努めた。



石原円吉賞

横山桜会(志摩市)

功績
桜の植樹等

15年前から桜を中心とした植樹に取り組み、志摩市の横山周辺の遊歩道や山林にのべ約4千本(うち桜は約3千本を植えてきた。創造の森・横山を活動拠点とし、毎年春に同所で「横山さくらまつり」を開いて賑わせ、資源の活用でも認められた。会員数は52名(賛助会員は除く)。「円吉さんは国立公園に1万本の桜を植えたので、われわれも目指したい。日本で一番の桜の園になるよう続けていきたい」(前田敏通会長)



特別賞

石原義剛さん

功績—漁民文化の調査・保存等



昭和48年に父の石原円吉から海の博物館館長を継ぎ、漁民文化の調査・保存に尽力。環境問題を訴えるSOS(Save Our Sea)運動を呼びかけ、海女振興協議会会長として海女文化のユネスコ無形文化遺産登録活動にも情熱を注いだ。今年9月に逝去。享年81歳。津市出身。

「生前、父に賞の創設を伝えたが、まさか自分が特別賞を取るとは思っていなかったでしょう。祖父円吉は喜んでいと思う」(次女・石原真伊さん)

中村幸昭さん

功績—観光誘客、環境美化等



昭和30年に鳥羽水族館を開設。現在に至るまで大勢の来館者を集め続けて伊勢志摩への観光と生物・環境教育につなげている。平成元年〜同28年には鳥羽清港会会長を務め海岸清掃を指揮した。また、講演や著述活動を

通じて伊勢志摩の魅力を発信している。鳥羽市出身。90歳。「戦後の国立公園指定運動を振り返って語り」今日は円吉賞のご縁で円吉さんとの思い出を話した。本当にありがとうございました(本人)

「第二回」二〇一九年

石原円吉賞推薦

来年6月募集開始!

予告

石原円吉賞の推薦は6月頃募集を開始し、伊勢志摩国立公園の指定日(11月)に合わせて表彰式を行います。

伊勢志摩国立公園の最大の魅力は人と自然の関わりを感じることができるところであり、今後とも国立公園の保全や活用に取り組み、魅力ある地域づくりを行っている方々の活動にスポットを当てていきます。

推薦の受付・表彰式については、詳細が決まり次第案内させていただきます。皆さまの推薦をお待ちしています。

候補者の推薦

公募により行います。表彰の対象者は、長年、伊勢志摩国立公園の地域文化の継承や適正な活用の推進、動植物の保護などを行っている方やグループ・団体です。(若干名)



内宮宇治橋の日の出(冬至のころ)

(一財)伊勢志摩国立公園協会
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目2383-22
TEL & FAX : 0599-25-2358
<http://www.ise-shima.or.jp/>

三重県農林水産部みどり共生課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
TEL : 059-224-2627 FAX : 059-224-2070
伊勢志摩国立公園インスタグラム Nationalpark_Iseshima
https://www.instagram.com/nationalpark_iseishima/

お問い合わせ